日本産業衛生学会
近畿地方会ニュース

発行所　日本産業衛生学会近畿地方会
（事務局　圓藤吟史）
〒545-8585　大阪市阿倍野区旭町1-4-3
大阪市立大学医学部環境衛生学教室内
ＦＡＸ　06-6646-3160
発行責任者（地方会長）　堀口俊一

第44回　近畿産業衛生学会

主　催　　日本産業衛生学会近畿地方会
学会長　西山勝夫（滋賀医科大学予防医学講座）

日　　時　　平成16年11月6日（土）10：00～17：00
会　　場　　ピアザ淡海（おうみ）　（大津市におの浜１丁目１番２０号）
304号室　（第１会場･一般口演）
303号室　（第２会場･一般口演）
302号室　（第３会場･一般口演・代議員会）
301号室　（事務局･幹事会）
大会議室（特別講演・シンポジウム）

一般口演　10：00～12：00
特別講演　13：30～14：40　「働く人々の健康と睡眠」
講師　大川匡子　（滋賀医科大学精神医学講座　教授）
座長　西山勝夫　（滋賀医科大学予防医学講座　教授）
シンポジウム　14：50～17：00　「在日外国人労働者に関わる産業保健」
講師　井田　健　（公立甲賀病院）
木村　隆　（(財)近畿健康管理センター）
竹屋久美子（(財)滋賀県国際協会）
長澤孝子　（滋賀産業保健推進センター）
座長　北原照代　（滋賀医科大学予防医学講座）
杉本寛治　（滋賀産業保健推進センター）
幹事会　12：00～12：50　（301号室）　※旧幹事で構成
代議員会　12：50～13：20　（302号室）　※新代議員で構成
懇親会　17：15～　（６階　ホテルピアザびわ湖）

学会開催にあたって

滋賀医科大学
西山　勝夫

このたび、四半世紀ぶりに滋賀医科大学予防医学講座が事務局を担当して、近畿産業衛生学会を開催することになりました。開催にあたって、本学会を

１）現在の労働者が直面している健康問題を学ぶ機会
２）滋賀県から問題提起する機会

ととらえ、県下の諸会員と準備してまいりました。

昨年の近畿産業衛生学会では「不況下における企業労働者のメンタルストレス---過重労働、自殺、過労死---」が取り上げられましたが、つい先日発表の警察庁統計では、昨年の自殺者は34427人と過去最悪で、止まるところがない様相を示しています。これは、企業における「心の病」や労働者を取り巻く状況の悪化を反映しているものと思われます。長時間・過密・過重・不規則な労働は、疲労回復や健康維持の基本である睡眠にも大きな影響を与えていると考えられます。そこで、今学会では、全国の大学に先駆けて睡眠学講座の創設にあたられた滋賀医科大学の大川匡子教授による労働と睡眠に関する特別講演を企画しました。

また、日本の労働者の大多数は小零細企業で働いていますが、近年は非正社員が急増し、今年は非正社員が全体の3分の１を超えたとのことです。さらに、外国人労働者の増加も著しく、介護・看護などの分野でのアジア諸国労働者の受け入れも俎上にのっています。外国人労働者が我が国で安心して働くことができるためには、解決されるべき様々な課題があると考えられます。そこで、多くの外国人労働者が働き生活している滋賀県の状況をふまえ、これらの労働者の労働衛生の実態と問題解決について取り上げるシンポジウムを企画しました。

今回学会を開催する会場は、県立芸術劇場琵琶湖ホールに隣接し、遥かに広がる琵琶湖の湖面と周辺の峰々を一望できる県の複合施設「ピアザ淡海（おうみ）」です。自然豊かな琵琶湖畔にて開催する第44回近畿産業衛生学会へ是非ご参加ください。

第44回近畿産業衛生学会プログラム

第１会場（304号室）

（10：00～11：00）

座長　吉永侃夫　（京都大院・医・環境衛生）

101　実験的モノクロル酢酸皮下投与後に生じる肺傷害の量反応影響
○加藤順子、土手江美、三井　剛、足立和也、土手友太郎、清水宏泰、臼田　寛、河野公一（大阪医大・衛生・公衆衛生）

102　硝酸カドミウム静脈内投与後の毒性および動態
○土手江美、渋谷孝裕、中筋一夫、土手友太郎、清水宏泰、臼田　寛、河野公一（大阪医大・衛生・公衆衛生）

103　チタンペルオキソクエン酸アンモニウム四水和物の経口投与時の24時間尿中Ti排泄量と腎機能への影響
○中筋一夫、川崎隆士、谷本芳美、林さつき、渋谷保之、臼田　寛、土手友太郎、河野公一（大阪医大・衛生・公衆衛生）

104　ラットに経口投与したイットリウムの尿中排泄量
○林さつき、土手友太郎、臼田　寛、清水宏泰、渋谷保之、川崎隆士、三井　剛、中筋一夫、河野公一（大阪医大・衛生・公衆衛生）

105　ＧＣ法による尿中メトキシ酢酸･エトキシ酢酸の分析方法について
○池田直子、城山　康、安井史郎、道辻広美、山田誠二（松下産業衛生科学センター）

（11：00～12：00）

座長　河野公一　（大阪医大・衛生・公衆衛生）

106　難分解性科学物質を対象とした生体試料バンクの創設に関する研究
○吉永侃夫、原田浩二、井上佳代子、森川亜紀子、Eslami Bita、井上純子（京都大院・医・環境衛生）、新保愼一郎（京都女子大）、池田正之（京都工場保健会）、小泉昭夫（京都大院・医・環境衛生）

107　ヒトにおけるペルフルオロオクタン酸（PFOA）とペルフルオロオクタンスルホン酸（PFOS）の腎クリアランスと種差の血中濃度に及ぼす影響
○原田浩二、井上佳代子、森川亜紀子、吉永侃夫（京都大院・医・環境衛生）、齋藤憲光（岩手県環境保健研究センター）、木村みさか（京都府立医大･医･看護）、新保愼一郎（京都女子大）、小泉昭夫（京都大院・医・環境衛生）

108　難分解性環境汚染物質PFOSおよびPFOAの生態系汚染評価のためのカメによる生物濃縮の検討
○森川亜紀子、亀井直哉（京都大院・医・環境衛生）、齋藤憲光（岩手県環境保健センター）、原田浩二、井上佳代子、吉永侃夫、小泉昭夫（京都大院・医・環境衛生）

109　スチレンとフロセミドの複合曝露によるモルモットの聴覚に対する影響（第1報）
－聴性脳幹反応（ＡＢＲ）を用いた聴覚閾値の検討－
○南　芳宏、山本博一、寺田和史、前島　幸、宮井信行、宮下和久（和歌山医大・医・衛生）、河合俊夫、山内恒幸、味山友里子（中央労働災害防止協会大阪労働衛生総合センター）

110　スチレンとフロセミドの複合曝露によるモルモットの聴覚に対する影響（第2報）
－走査電子顕微鏡による組織学的検討－
○南　芳宏、山本博一、宮下和久（和歌山医大・医・衛生）、山崎　尚（和歌山医大・医・微生物）

第2会場（303号室）

（10：00～11：00）

座長　大道重夫（(財)滋賀保健研究センター）

201　「過労死」予防における現行法制度の問題点と今後の法整備の方向性
○湯木知史、吉永侃夫、小泉昭夫（京都大院・医・環境衛生）

202　男性の交代勤務者にみられた健康影響の検討
－メンタルヘルスとの関連－
○瀧本忠司（ダイハツ工業(株)京都工場診療所）、大東正明（ダイハツ保健センター）

203　職場における過労死の予防について　－脳動脈瘤に着目して－
○福田里砂、井上佳代子、宇都宮真木、湯木知史、吉永侃夫、小泉昭夫（京都大院・医・環境衛生）

204　職域における虚血性心疾患の発症に関連する要因の検討
○塩崎万起（和歌山医大・医・衛生・和歌山県警察厚生課）、冨井信行（和歌山医大・医・衛生）、原　充紀（和歌山県警察厚生課）、森岡郁晴（和歌山医大･保健看護学部）、小池廣昭（和歌山県警察厚生課・小池クリニック）、宮下和久（和歌山医大・医・衛生）

205　製造業一事業所におけるメンタルヘルスへの取り組み職業性ストレス簡易調査票を活用して
○及川三津子、（三菱マティリアル(株)堺工場　健康管理室）瀧野敏子、（ラ・クォール本町クリニック）

（11：00～12：00）

座長　廣田善彦
（(株)ブリヂストン彦根工場健康管理センター）

206　ストレスとライフスタイルに関する予防医学的研究（第15報）－朝方･夜型および睡眠時間と精神的健康度･ライフスタイルの関連性－
○中山邦夫、森本兼襄（大阪大院・医・社会環境医学・環境医学）

207　閉塞性睡眠時無呼吸症候群のスクリーニング法について
○仲岡裕右、上原新一郎、大江泰浩、伊藤　正（JR西日本旅客鉄道(株)大阪鉄道病院　大阪保健管理部）

208　某企業研究開発部門における労働者の勤務実態
○榎本聡美、西村泰光、西池珠子、和田安彦、井口　弘（兵庫医大・衛生）

209　高齢化時代の労働者と健康測定の意義
○高橋達夫、山本瑞枝、福井里佳、高橋典子、田中彰恵、辻村市郎、村田忠正、大道重夫
((財)滋賀保健研究センター)

第3会場（302号室）

（10：00～10：48）

座長　岡村智教　（滋賀医大・福祉保健）

301　平成15年度職域看護職・地域保健師業務実態アンケート結果
○山中佳子、長澤孝子（滋賀産業保健看護研究会）、杉本寛治（滋賀産業保健推進センター）

302　医療事故分析システムの開発とその試行
－インシデントレポートから7因子抽出による分析方法とその分析結果－
○井上佳代子、小泉昭夫（京都大院・医・環境衛生）

303　近畿労働衛生研究会発足の経緯
－周辺資料による考察－
○原　一郎（大阪産業保健推進センター）

304　和歌山県下の産業医の産業保健活動の現状
○森岡郁晴（和歌山医大・医・保健看護学部、和歌山産業保健推進センター）、宮下和久（和歌山医大・医・衛生、和歌山産業保健推進センター）、生田善太郎（和歌山健康センター、和歌山産業保健推進センター）、武田真太郎（和歌山医大・医・衛生、和歌山産業保健推進センター）、岡　久雄（和歌山産業保健推進センター）

（10：48～11：48）

座長　寺澤嘉之
（松下電器産業(株)ホームアプライアンス社健康管理室）

305　鉛則が適用されない職場における鉛曝露
－美術工芸製作労働者の事例より－
○冨岡公子、熊谷信二、小坂　博、田淵武夫、吉田　仁（大阪府立公衆衛生研究所）、片岡明彦（関西労働者安全センター）、原　一郎（大阪産業保健推進センター）

306　当院における石綿曝露歴のある悪性胸膜中皮腫の検討
○飯田慎一郎、村上亜紀、奥窪　琢、栗林康造、延山誠一、三宅光富、宮田　茂、中村　仁、中野孝司（兵庫医大・総合内科学・呼吸器・RCU科）

307　尿糖定性と血糖値
○保田和之、小林正嗣（近畿健康管理センター）、村田和弘（近畿エコサイエンス）、坂手誠治（滋賀県立大・院）、谷口俊樹、阪上皖庸、木村　隆（近畿健康管理センター）

308　肥満とライフスタイルの関連（第2報）－職域男性集団におけるアディポネクチン濃度と肥満度、各種血液データの関連－
○月野木ルミ、中山邦夫、森本兼襄（大阪大院・医・社会環境医学）

309　レーザー血流画像化装置を用いた振動工具取扱い者の冷水付加試験における末梢循環動態の評価（第2報）
－環境温による影響に関する基礎的検討－
○寺田和史、宮井信行、坂口俊二、戸村多郎、南　佳宏、前島　幸、吉益光一、山本博一、宮下和久（和歌山医大・医・衛生）

12：00～12：50　幹事会　（301号室）

12：50～13：20　代議員会　（302号室）

13：30～17：00　第4会場（3階・大会議室）

特別講演：　13:30～14:40
「働く人々の健康と睡眠」
講師　大川匡子　（滋賀医科大学精神医学講座　教授）
座長　西山勝夫　（滋賀医科大学予防医学講座　教授）

シンポジウム：　14:50～17:00
「在日外国人労働者に関わる産業保健」
講師　井田　健　（公立甲賀病院）
　　木村　隆　（(財)近畿健康管理センター）
　　竹屋久美子　（(財)滋賀県国際協会）
　　長澤孝子　（滋賀産業保健推進センター）
座長　北原照代　（滋賀医科大学予防医学講座）
　　杉本寛治　（滋賀産業保健推進センター）

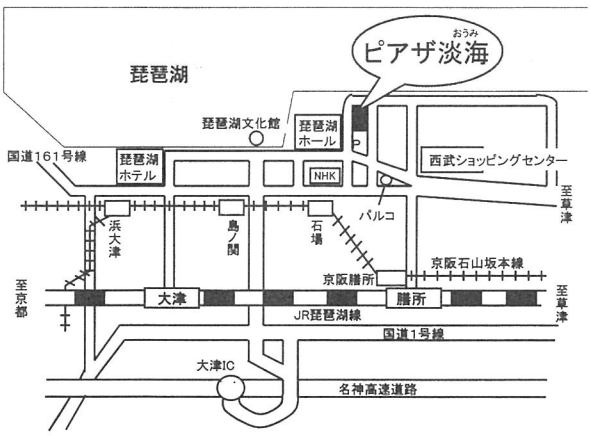
17：15～　懇親会　（6階　ピアザホテルびわ湖）

会場への交通機関

ＪＲ大津駅：大阪駅より「琵琶湖線」新快速で39分です。
ＪＲ大津駅～京阪・近江バスなぎさ公園線8分
ピアザ淡海で下車
ＪＲ大津駅よりタクシーを利用して約1000円

ＪＲ膳所駅：京都駅より11分、大津より2分。
新快速は停車しません。
大津で乗り換えると便利です。
ＪＲ膳所駅から徒歩12分

ＪＲ石山駅：大阪駅より「琵琶湖線」新快速で43分です。
ＪＲ石山駅前で京阪電車にのり、
京阪石場駅から徒歩5分



1　参加手続
1）受付は3階大会議室前のホールで9時20分より行います。記入テーブルに備え付けの「参加カード」にお名前、所属等をご記入のうえ、受付にお持ちください。
2）参加費は日本産業衛生学会会員2000円、学会員以外は3000円です。

2　一般口演の演者の方へ
1）1演題12分（口演7分、質疑応答5分）です。会場内に次演者席を用意しています。時間内の発表にご協力ください。
2）スライド、パソコン&プロジェクターを利用される方は、9時45分までにスライド、電子媒体を受付までお持ちください。
3）学会誌「産業衛生学雑誌」掲載用の抄録を予め400字以内にまとめ、当日受付にご提出ください。

3　幹事会および代議員会
1）幹事会は301号室で12時より、代議員会は302号室で12時50分より行います。
2）予めお弁当を注文された方は、11時40分より受付で代金と引き換えにお渡しいたします。

4　懇親会
学会終了後、会場6階（ホテルピアザびわ湖）にて懇親会を行います。多数ご参加ください。会費は3500円で当日受け付けます。

5　認定産業医および認定産業医を目指す方へ
本学会での特別講演とシンポジウムへの参加により、日本医師会産業医認定制度による基礎研修（後期）または生涯研修（専門）3単位が認められます。当日、受付で「産業医学研修手帳」をお預けいただき、シンポジウム終了後、単位押印された手帳をお受け取りください。

6　産業看護職の方へ
本学会での特別講演とシンポジウムへの参加により、日本産業衛生学会産業看護職継続教育（実力アップコース）3単位が認められます。当日、受付でお申し出ください。

学会事務局（問い合わせ先）
〒520-2192大津市瀬田月輪町
滋賀医科大学予防医学講座内
第44回近畿産業衛生学会事務局　垰田和史（たおだかずし）
TEL　077-548-2187　FAX　077-548-2189
E-mail: hqpreve@belle.shiga-med.ac.jp

近畿地方会事務局からのお知らせ

11月6日（土）滋賀で開催される第44回近畿産業衛生学会での代議員会は、今般の選挙で選出される代議員で構成されますので、出欠のはがきを別途に郵送（10月20日頃）致します。

今回は回答期限が非常に短くなっておりますので、十分ご注意いただくようお願い申し上げます。

なお、上記学会時に開催されます第3回定例幹事会および第4回定例幹事会（平成17年2月開催予定）は、平成13年に選出された幹事で行います。

Quality of Life
財団法人 日本予防医学協会
http://www.sunnet.or.jp
E890001(01)

□本　部　〒135-0001 東京都江東区毛利1-19-10 江間忠錦糸町ビル TEL.03-3635-1026（代表）
□公益事業推進室
□総合企画室
□ネットワーク事業部
□東日本統括センター　〒135-0001 東京都江東区毛利1-19-10 江間忠錦糸町ビル TEL.03-3635-1214（代表）
□茨城センター　〒314-0014 茨城県鹿嶋市大字光3番地 TEL.0299-82-7736（代表）
□東海センター　〒461-0002 名古屋市東区代官町39-18 日本陶磁器センター内 TEL.052-931-0526（代表）
□西日本統括センター　〒530-0047 大阪市北区西天満5-2-18 三共ビル東館 TEL.06-6362-9061（代表）
□九州センター　〒812-0011 福岡市博多区博多駅前3-19-5 博多石川ビル TEL.092-473-0547（代表）
□南九州センター　〒891-0115 鹿児島市東開町4-96 TEL.099-266-2630（代表）

産業医、事業主等の皆様へ
産業保健活動を応援します
大阪産業保健推進センター業務案内
◎窓口相談・実地相談　◎情報の提供
◎研　修　◎調査研究　◎広報・啓発
産業医、保健師、企業の産業保健活動に携わっている方々の、ご利用をお待ちしております。
相談内容等についての秘密は厳守し、原則として無料でご利用できます。
詳細は当センターまでお問い合わせください。
大阪産業保健推進センター
〒541-0053　大阪市中央区本町2丁目1番6号　堺筋本町センタービル
TEL 06-6263-5234　FAX 06-6263-5039
ホームページアドレス　http//www1.biz.biglobe.ne.jp~sanpo27/
Eメール　sanpo27@mvb.biglobe.ne.jp

お知らせ

第10回 産業衛生技術部会大会

産業衛生分野において更なるスペシャリストを目指すあなたへ

日　時：平成16年10月27日（水）10:00～16:30（懇親会　16:30～18:00）
場　所：インテックス大阪　6号館F会議室（緑十字展会場のとなり）
参加費：無料
運　営：近畿地方会技術部会幹事　　運営代表：河合俊夫(中災防大阪労働衛生総合センター)

1．特別講演 (10:00－12:00)
　活性化する東大阪　　山本　雄才（山本光学(株)　代表取締役・専務）
　　座長　　五十嵐晃一（中災防　国際安全衛生センター）
　駅伝ランナーを育てる（健康指導を含む）　渡辺　公二（兵庫県立西脇工業高等学校　陸上競技部監督）
　　座長　　藤原　　治（三洋電機(株)）

2．シンポジウム (13:00－16:30)
　『環境改善に向けて企業の担当者をその気にさせるポイント』
　　コンサルタントの立場から　　黒木　孝一（黒木労働衛生コンサルタント）
　　産業医の立場から　　宇土　　博（日新製鋼呉製鉄所）
　　作業環境測定機関の立場から　　城山　　康（松下産業衛生科学センター）
　　企業労働衛生担当者の立場から　　生田善太郎（(財)和歌山健康センター）
　　座長　　河合　俊夫（中災防大阪労働衛生総合センター）
　　熊谷　信二（大阪府立公衆衛生研究所）

大会事務局：中災防　大阪労働衛生総合センター　河合俊夫　　岡部美希
〒550－0001大阪市西区土佐堀2－3－8　TEL:06-6448-3764　FAX:06-6448-2263
E-mail： tkawai@jisha.or.jp　/　mokabe@jisha.or.jp

報　告

近畿産業看護部会
平成16年度特別研修会（H16.6.19）参加報告

テーマ「糖尿病管理の最新情報について」参加者 ： 47名

6月19日に大阪産業保健推進センターとの共催で、「糖尿病管理の最新情報について」の研修会が開催された。講師は大阪市立総合医療センターの佐藤利彦先生で、糖尿病における教育入院と産業保健との連携についての講話が中心であった。

研修会では、様々な方向から糖尿病に関する知識を学ぶことができた。まず始めに1．糖尿病とは（患者にやさしくなれるための理解）、2．食事療法（集団指導から個人指導へ）、3．運動療法、4．療養指導のコツなどが示された。糖尿病療養指導においては、1）正確な知識を持つこと、2）対象者に対してその知識をできるだけわかりやすく翻訳して伝えること、3）知識を得た対象者が、自身に必要な行動をいかに実践に結びつけるかという話は日々、保健指導を実施する際に常に心がけていなければならないポイントであると感じた。また、生活習慣と糖尿病は密接に関連しており、境界型から糖尿病へと発症しないようにするかが重要であると話された。私達が産業保健職として実践していくべきことは、より適切で正確な情報を提供すること、各個人が自ら目標を設定し達成できるように支援することであると考えられた。今回、実際に病院で指導しておられる先生より、糖尿病管理の現状について生きた話を伺うことができ、生活習慣病予防を具体的に進める上で有意義な情報が得られた。

文責：堤　梨恵（三井化学(株)大阪工場健康管理室）

近畿産業看護部会
平成16年度第1回研修会報告

7月31日（土）大阪産業保健推進センターにて研修会が開催された。テーマは、「職場で生かす行動療法～Plan do see の心理療法」で講師は奈良教育大学付属教育実践総合センター　専門行動療法士の小野昌彦先生であり、出席者は57名であった。要点を述べると、100人に3人は不登校児がいるといわれている現在、不登校児ゼロを達成された実績から、ケースを通してそのために用いた「応用行動分析」手法、行動療法（言語表現を変える専門的手法）の紹介があった。又、某企業産業保健チームの一員として、専門行動療法士の立場で産業看護職と連携を図り、生活習慣病、メンタルカウンセリングに関わっておられ、行動療法、すなわち「人間の行動を分析し、行動の前か後ろを変えると行動は変わる、とする三項随伴性の視点をもつ心理療法」を取り入れて、長欠者ゼロを目指し、行動変容への支援を展開されている事例についても話があった。先生の話で、学校も企業も同じで「他人をしあわせに思う気持ちがあっての行動療法であり、邪心が入っては駄目である。努力なくして奇跡はおこらない。きちっとアセスメントしてケアーすることが大切である」の言葉が印象的で、筋弛緩法の実技を含め大変有意義な研修会であった。生活習慣病・メンタルヘルス対策は産業保健活動の重要な課題です。支援する中で行動変容に至らせることは容易ではありませんが、今回の研修で、心理療法を取り入れた支援方法は、前進的で新たな支援方法でありとても興味深かった。

文責：鮫島真理子　（松下健康管理センター）

第14回産業医・産業看護全国協議会

メインテーマ：流動化する社会と産業保健

会　期：平成16年10月28日(木)～30日(土)
会　場：大阪国際交流センター(大阪市天王寺区上本町)
参加費：学会員　7,000円…当日参加登録(当日支払)
　　非学会員　8,000円
懇親会費：6,000円

※平成16年9月30日で事前参加登録の受付
（実地研修受付）は終了いたしました。
当日会場にてお申込みよろしくお願い致します。

事務局：〒541-8588 大阪市中央区本町2-5-7
　　丸紅大阪健康開発センター内
　　TEL：06-6266-2183　FAX：06-6266-2181
　　ＵＲＬ：http://www.pac.ne.jp/ncopn14/

プログラム：

〈　第１日目　10月28日(木)　〉

実地研修※1（当日参加申込不可）
　　実地研修は9月30日で受付を終了いたしました。

Ａ．一般健康診断（15:00～17:00）
　会場：(財)関西労働保健協会附属ｱｸﾃｨ健診センター
　講師：冨田　照見（(財)関西労働保健協会附属ｱｸﾃｨ健診ｾﾝﾀｰ）
Ｂ．健康測定（14:00～16:00）
　会場：(医)恵泉会恵泉会メディカルモール
　講師：佐藤　秀幸（(医)恵泉会 恵泉会メディカルモール）
Ｃ．職場巡視（14:00～16:00）
　会場：松下電子部品(株)本社
　講師：佐野　　敦（松下電子部品(株)本社健康管理室）
Ｄ．職場巡視（13:30～15:30）
　会場：三洋電機(株)大東事業所
　講師：益江　　毅（三洋電機(株)大東産業保健ｾﾝﾀｰ）
Ｅ．職場巡視（13:30～15:30）
　会場：日本ペイント(株)本社大阪工場
　講師：徳永　力雄（関西医科大学）

〈　第２日目　10月29日(金)　〉

実施研修※1（当日参加申込不可）
　　実地研修は9月30日で受付を終了いたしました。

Ｆ．職場巡視（14:00～16:00）
　会場：三菱重工業(株)神戸造船所
　講師：原　　俊之（三菱重工業(株)神戸造船所）
Ｇ．作業環境管理（14:00～16:00）
　会場：大阪産業安全技術館
　講師：荒井喜久男（大阪産業安全技術館）
Ｈ．事例研究ーメンタルヘルスー（13:30～15:30）
　会場：大阪国際交流センター
　講師：夏目　　誠（大阪樟蔭女子大学大学院）
　　藤嵜　泰利（なるかわ病院）
Ｉ．事例研究ー職場巡視ー（13:30～15:30）
　会場：大阪国際交流センター
　講師：山田　誠二（松下産業衛生科学センター）
　　増田　安民（松下電器･PAVC社･映像･
　　ディスプレイデバイス(事)）
Ｊ．健康教育ー喫煙対策ー（14:00～16:00）
　会場：大阪国際交流センター
　講師：中村　正和（大阪府立健康科学センター）

会場：大阪国際交流センター

サテライトセミナー１※2（16:00～17:00）
『メンタルヘルスのポイント』
　座長：小木　和孝（(財)労働科学研究所）
　演者：夏目　　誠（大阪樟蔭女子大学大学院人間科学科臨床心理）

サテライトセミナー２※2（16:00～17:00）
『産業医からみた糖尿病－職場と病院、診療所の架け橋として』
　座長：高田　和美（産業医科大学）
　演者：細井　雅之（大阪市立総合医療ｾﾝﾀｰ代謝内分泌内科）
サテライトセミナー３※2（16:00～17:00）
『生活習慣病－健康増進法に基づいた健康支援－』
　座長：小西美智子（日本赤十字豊田看護大学）
　演者：松井　治子（大阪産業保健推進ｾﾝﾀｰ）
リレーワークショップ※2（16:00～19:00）
『働く人の健康（元気）を生み出す組織（職場）づくり
　　－職場におけるヘルスプロモーション－』
　座長：宇土　　博（産業医部会担当幹事）
　　西内　恭子（産業看護部会担当幹事）
　企画趣旨説明：広瀬　俊雄（産業医部会副部会長）
　話題提供１：演者：河野　啓子（産業看護部会部会長）
　話題提供２：演者：谷本　　啓（同志社大学商学部）
　まとめ（次回への課題）：和田　晴美（産業看護部会副部会長）
ワークショップ１※2（17:00～19:00）
『労働者の適正配置について』
　座長：埋忠　洋一（UFJ銀行 東京本部健康管理センター）
　　植本寿満枝（北大阪地域産業保健センター）
　演者：指原　俊介（東海旅客鉄道(株)健康管理センター）
　　鈴木　英孝（ｴｸｿﾝﾓｰﾋﾞﾙ(有)医務産業衛生部）
　　木曽奈央子（NEC関西総務部勤労厚生チーム）
　　手塚　之博（ﾀﾞｲﾊﾂ工業(株)多田工場技術・安全統括室）
ワークショップ２※2（17:00～19:00）
『事業場における感染症をめぐる対応(特に、地域・専門病院との連携)』
　座長：杉本　寛治（滋賀産業保健推進センター）
　　畑中　純子（NTT東日本 東京健康管理センター）
　演者：木村　正儀（住友商事(株)診療所）
　　森脇　　俊（高槻市保健所）
　　鈴木　淳子（ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ ﾓﾊﾞｲﾙｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝｽﾞ(株)静岡工場健康管理室）
　　阪上　賀洋（大阪市立総合医療センター　感染症センター）
ワークショップ３※2（17:00～19:00）
『これからの健康管理システムの方向性』
　座長：斎藤　政彦（大同特殊鋼 星崎診療所）
　　石山　珠江（キヤノン販売(株)大阪健康管理室）
　演者：藤垣　直英（松下電器産業(株)ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ ｼｽﾃﾑｿﾘｭｰｼｮﾝｽﾞ社）
　　江嵜　高史（(財)京都工場保健会）
　　鈴木美恵子（栗田健康保険組合大阪医務室）
　　武藤　繁貴（聖隷健康診断センター）
懇親会（19:00～20:30）

〈　第３日目　10月30日(土)　〉

会場：大阪国際交流センター

特別講演（13:15～14:00）
『今企業が求められる経営革新－産業保健への影響－』
　座長：高田　　勇（北里大学名誉教授）
　演者：奥田　　務（(株)大丸代表取締役会長兼ＣＥＯ、
　　(社)関西経済同友会代表幹事）
産業歯科特別講演（15:30～16:30）
『口腔保健から見た産業衛生管理』
　座長：大野　　浩（(社)日本労働安全衛生ｺﾝｻﾙﾀﾝﾄ会　大阪支部副支部長）
　演者：神原　正樹（大阪歯科大学教授 口腔衛生学）
教育講演※1※2（11:00～12:00）
『多様化する勤務態様と快適職場づくり－企業内健康保持増進体策－』
　座長：大久保利晃（産業医科大学学長）
　演者：徳永　力雄（関西医科大学名誉教授）

第14回産業医・産業看護全国協議会

シンポジウム１※1※2（14:00～15:30）
『アジアに展開する企業戦略と産業保健の課題』
座長：広部　一彦（みずほフィナンシャルグループ大阪健康開発センター）
　　武田　桂子（NEC府中事業場健康管理センター）
演者：古賀　才博（労働者健康福祉機構 海外勤務健康管理センター）
　　土肥誠太郎（三井化学(株)本社健康管理室）
　　五十嵐　昇（シャープ(株)生産技術開発推進本部　モノづくり革新センター）
シンポジウム２※1※2（15:30～17:00）
『多様化する企業形態と労働形態に対応する産業保健の生かし方』
座長：浜口　伝博（日本アイ・ビー・エム人事サービス(株)　安全衛生産業保健部）
　　中村　俊子（松下産業衛生科学センター）
演者：茂原　　治（(財)和歌山健康センター）
　　鎗田圭一郎（マツダ(株)人事本部）
　　五味由里子（セイコーエプソン(株)総務部）
シンポジウム３※1（9:00～11:00）
『激変する企業環境とヘルシーカンパニーの創造』
座長：山田　誠二（松下産業衛生科学センター）
　　圓藤　吟史（大阪市立大学大学院・産業医学）
特別発言：荘司　榮徳（労働衛生コンサルタント荘司事務所）
演者：森　　晃爾（産業医科大学産業医実務研修センター）
　　朝枝　哲也（(財)京都工場保健会）
　　吉田　　勉（名城大学薬学部臨床医学研究室）
　　加藤　隆康（トヨタ自動車(株)安全衛生推進部）
シンポジウム４※2（10:20～12:00）
『産業看護の専門性－産業看護の定義と役割の改正を機会に考える－』
座長：中島美綸子（兵庫産業保健推進センター）
演者：西田　和子（久留米大学医学部看護学科）
　　川名ヤヨ子（(社)千葉県看護協会）
　　荒木　郁乃（エクソンモービル(有)）
　　西内　恭子（大阪ガス(株)健康開発センター健康保険組合）
報告と助言：河野　啓子（日本赤十字北海道看護大学大学院、
　　産業看護部会部会長）
シンポジウム5（13:30～15:30）
『歯科からみた産業保健』
座長：岡　　卓爾（大阪歯科労働衛生コンサルタント協議会）
演者：加藤　信次（大阪府歯科医師会　産業歯科担当）
　　長尾　啓一（日本生命　本店健康管理所）
　　大野　　浩（(社)日本労働安全衛生コンサルタント会 大阪支部）

ポスターセッション
（展示：10:00～16:00　発表：13:00～14:00）
ランチョンセミナー１（12:00～13:00）
『職域における、メタボリックシンドロームを念頭に置いた高尿酸血症の扱いについて　－新しい肥満症治療ガイドラインに見る取り組み－』
座長：河野　公一（大阪医科大学 衛生学・公衆衛生学）
演者：中島　　弘（大阪府立成人病センター　臨床検査科）
ランチョンセミナー２（12:00～13:00）
『心血管疾患におけるグローバルリスクマネージメント』
座長：井谷　　徹（名古屋市立大学医学部衛生学）
演者：山田　信博（筑波大学大学院 内分泌代謝糖尿病内科）
ランチョンセミナー３（12:00～13:00）
『糖尿病を合併した高血圧の治療』
座長：相澤　好治（北里大学医学部衛生学公衆衛生学）
演者：武田　和夫（(財)京都工場保健会 診療所）
市民公開シンポジウム（14:00～16:00）
日本学術会議環境保健学研究連絡委員会主催
第14回産業医・産業看護全国協議会共催
『流動化社会と産業保健』
座長：角田　文男（岩手医科大学名誉教授、日本学術会議会員）
演者：有賀　熙雄（造幣局監事、関西電力元常務取締役）
　　惣宇利紀男（大阪市立大学大学院教授経済学研究科）
　　広瀬　俊雄（仙台錦町診療所・産業医学センター所長）
　　圓藤　吟史（大阪市立大学大学院教授医学研究科、
　　日本産業衛生学会理事）

産業医プロフェッショナルコース※3（9:00～16:00）
会場：丸紅大阪本社ビル
産業看護部会特別研修会※3（13:00～15:30）
会場：あべのメディックス　医療研修センター

※１）日医認定産業医研修単位認定
※２）日本産業衛生学会産業看護職継続教育実力アップコース単位認定
※３）各部会が主催する研修会です。参加には別途、事前申込・参加費が必要です。また、当日の参加申込はできませんのでご了承ください。

第12回近畿産衛労働衛生法制度研究会のご案内

小泉内閣の諮問機関「総合規制改革会議」で「労災保険及び雇用保険事業の民間開放」が提案されました。提案の趣旨概略は下記の通りです。

①保険の理念として「給付と負担の均衡原則」に反している。リスクの脆い企業がリスクの高い企業の保険給付を負担しているのは不公平である。
②労災病院や直営事業の経営に問題が多い。
③労災保険の仕組みは、民間の賠償責任保険と共通点が多い。だから業者に委託すれば労基署の人員を解消できる。管理運営は民間が効率的であり、国は監督だけに専念することができる。
④未加入事業所の一掃、業種別リスクに応じた保険料の設定、労働福祉事業のムダの見直しなど。

この提案については、日本産業衛生学会労働衛生法制度委員会でも検討されています。そこで、第12回研究会では以下のテーマで開催することにしました。

「労働災害補償保険事業の民間開放の促進」をめぐって
日本産業衛生学会労働衛生法制度委員会での検討経過について
　　日本産業衛生学会労働衛生法制度委員会事務局　平田　衛（産業医学総合研究所）
労働法学領域からの問題提起
　　日本労働法学会　三柴丈典（近畿大学法学部）
日時：2005年１月22日（土）13:00～17:00
場所：近畿大学会館３F 第３会議室（http://www6.ocn.ne.jp/~direct/osirase011228tizu.htm）

会員の声

兵庫医科大学着任のご挨拶

兵庫医科大学　公衆衛生学

島　　正之

平成16年7月1日付けで小泉直子前教授の後任として兵庫医科大学公衆衛生学講座に着任し、日本産業衛生学会近畿地方会に加えていただくことになりました。

これまでは千葉大学公衆衛生学教室に在籍し、関東地方会に所属しておりましたが、正直なところ産業衛生関係の活動はあまり行っておりませんでした。私の主な研究テーマは環境保健と地域保健であり、大気汚染物質と気管支喘息や花粉症との関係についての実験的及び疫学的研究を中心に取り組んできました。現在は環境省研究班に参加して大気汚染レベルの異なる全国数地域の住民を対象に疫学研究を行うとともに、中国における都市大気汚染の健康影響に関する国際共同研究に参加しています。かつて高度経済成長期には四日市公害に代表される深刻な大気汚染が問題となりましたが、種々の公害防止対策が講じられて改善しました。現在は自動車交通量の増大に伴い、浮遊粒子状物質による大気汚染が国際的な問題となっています。近年、ディーゼル車排出ガス対策が進められておりますが、都市部の大気汚染は今も深刻な状況にあります。阪神地区は首都圏と同様に自動車交通量が多い地域であり、これからも関係の方々のご協力を得て地域に密着した研究を行っていきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

当教室ではこれまで小泉前教授のもとでカドミウムなどの重金属による環境汚染に関する実験的研究とともに産業保健に関する研究が行われてきました。こうした伝統を生かせるように、私自身もこれからは産業保健分野の活動にも積極的に関わっていきたいと思っております。また、卒前・卒後の医学教育においても産業保健を実地に学ぶことが必要であると考えております。

私は学生時代より長年千葉県に居住しておりましたが、高等学校までは関西在住でしたので、ホームグラウンドに戻った気分です。とは申しましても関西で仕事をするのは初めてですので、初心に返ったつもりで公衆衛生学の教育と研究、地域における実践活動に取り組みたいと思っております。近畿地方会の皆様方のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

＊＊

世界遺産に暮らす人たちの健康管理

和歌山県立医科大学医学部
衛生学教室

南　　佳宏

私が社会医学に身を置き５年目になりました。この間、石油化学工場の専属産業医も勤めました。現在は当教室で大学院生として日々研究に勤しんでいます。テーマはその時の経験も生かし、有機溶剤と種々の聴器毒性要因を複合曝露した聴力への相乗影響をモルモットを使って実験しております。現在の研究テーマは「スチレンとフロセミドの複合曝露による聴覚への影響」です。ところで当教室の看板と言いますとなんと言っても林業従事者、振動工具取扱い者の検診です。県内のすべての林業従事者を対象に行っています。本年８月、和歌山県の熊野に続く参詣道が日本で１３番目の世界遺産に登録されました。その中の１つ、紀伊半島のほぼ中央に位置する有名な南紀白浜の近く、田辺市から山間部を抜け熊野本宮大社へ向かう参詣道を中辺路（なかへじ）といいます。県外の人にはあまり知られていないかも知れませんが、この中辺路沿いは林業の針葉樹林の森に覆われています。林業が中心の市町村が続くのです。ほんとに山深く、なるほど神々の眠るといいますか、神聖な森が広がります。なんと野生のいのししや鹿、信じられないかもしれませんが月の輪熊までいます。そんな神聖な土地に暮らす方たちを対象にしています。言うなれば、“世界遺産に暮らす人たちの健康管理”なのです。

教室に来た当初、「振動障害なんていまどきあるの」という思いでした。小学生時代、社会科の教科書で「白蝋病」として聞いたことがありましたが、当然教科書上の話であり、その後の振動工具の改良、林業そのもの衰退でてっきり姿を消したと思いこんでいました。しかし検診においてレイノー徴候を目の当たりにすると、改めて検診の意義を思い知らされます。そして何より驚くのは、てっきり廃れ傾向の林業と思いきや、若者でも従事しようという人がいることです。国の政策の影響もあるのかも知れませんが、これからの新たな林業従事者に振動障害患者を増やさないよう改めて身が引き締まる思いです。世界遺産登録により、ますます人々の目が、足が和歌山に向くことでしょう。労働衛生分野でもぜひ和歌山に目を向かせるようにしたいものです。

会員の声

楽しもう、プレゼンテーション

三菱重工業(株)神戸造船所

原　　俊之

社内外でお話しする機会が増えてきました。

しかし何といっても、 自分の会社の社員たちを前にしての話ほど難しいものはありません。教育実施後のアンケートでも、情け容赦ない評価・コメントを浴びます。「朝礼講話は３分以内で、衛生講話は30分でまとめてくれ」と、いろいろ注文も来ます。それでも、こうして現場でもまれながら、産業医の話力は鍛えられるのかもしれません。

ところで最近は、業界(専門)用語を業界以外の素人にもやさしく紹介した入門書がよく売れています。私自身は趣味と実益をかねて、「家づくり」関連の本を乱読しているのですが、ベストセラーの本には次のような共通点があることに気付きます。

①コンパクトでありながらインパクトがある

②著者自身が楽しんで仕事をしている

①は、専門医試験の試験官のある先生もおっしゃっていましたが、産業医のいろいろな仕事にも通じることが多いように感じます。

忙しい社員を相手に、枝葉をぎりぎりまでそぎ落とし、簡潔にまとめつつ、しかもパンチを効かせた提言をしたい。それにはどうすればよいか。そもそも、やっている自分自身が楽しくないと聴衆もきっと楽しくなかろうし、訴えるパワーも弱いんじゃないか。最近つくづくそう感じるようになりました。

限られた時間内で、いかに笑い(関西人必須アイテム！)を取り、かつインパクトを与える話ができるか。そしてどうせやるなら、「聞いて楽しく、役に立った」と思ってもらえる内容にしたい。毎回悩みながらではありますが、作戦を練るのに楽しみも感じつつある今日この頃です。

＊＊

「初心」

NEC 関西総務部

木　曽　奈央子

精神科で看護師として勤務しており、そこで予防という観点に興味を持ち、保健師を目指しました。 念願の産業保健師の仕事について２年目になります。 産業という場において専門職として働く上で、何が求められているのかが、ほんの少しですが見えてきた様に思います。

当社の従業員は約2,500名で平均年齢は42歳、保健師は２名です。２年目の私でも約1,300名を受持ちます。生活習慣病予防だけでなく、メンタルヘルスケアにも重点を置いた健康教育や保健指導、相談業務等様々な角度から健康支援活動を行っています。

従業員全員の健康支援を担うとなるといかにして従業員の健康意識を高め、“自分の健康は自分で守る”というセルフケア能力を高めるかという事が必要になってきます。これは個人単位での支援は勿論、組織全体に対しても言える事だと思います。仕事をしていく中でデータを数値化してまとめると、そこから見えてきた問題は多くありました。ですが、その問題の対策の為にどのような施策を企画・展開していくか、またその必要性を会議等で発表し、経営者の理解や職場の協力を得る必要があり、優先順位も考えて取り組まなければなりません。また、施策を行ってもそこで終了してしまっては保健師の自己満足になってしまいます。あくまでも主人公は従業員ですので、従業員へのアンケートや自社で問題となっている検査結果等で少しでも改善すべくチャレンジし、評価していく事が大切だと考えます。人の健康は数値で表せない事が多く、結果は短期間では出ませんが、今後企業の中で専門職として仕事をしていく以上、保健師の存在価値をどのようにして分かってもらうかという働きかけが必要不可欠だと思います。

まだまだ半人前で模索の毎日ですが、好奇心と挑戦心を持ってより多くの従業員の方が生き生きと仕事が出来るように支援出来る保健師として成長していきたいと思っております。諸先輩方のご指導、 今後ともよろしくお願い致します。

我々の産業歯科保健活動

大阪歯科労働衛生コンサルタント協議会

副会長　大野　浩

口腔は全身の一部であり、全身を考えるとき口腔、特に歯の咬合関係及び歯周疾患を切り離して考えることは出来ません。労働者の健康を考えるときにもこれは当然のことといえます。従来産業保健のなかで歯科にかかわる問題の占める範囲が小さいものであったことは否めません。その中で昭和63年に安衛法の一部改正があり、事業主に対して、労働者の健康増進措置が努力義務として定められました。同時に出されました指針の中に、労働者に対する口腔保健についての健康教育、健康相談等が定められました。

ついで、平成14年８月に健康増進法が公布され、健康日本21のなかで、生活習慣病及びその原因となる生活習慣等の課題の９分野の１つとして歯の健康が取り上げられました。近年、歯科と全身のかかわりの重要性が叫ばれ、多くの研究機関でそのエヴィデンスが集められています。例えば歯周病と糖尿病、心臓疾患などです。従来は基礎疾患として、これらの病気があれば歯周病になりやすい、予後がよくないといわれていたのですが、歯周病がこれらの疾患のリスクファクターとして注目されています。ほかにも全身とのかかわりが考えられるのは、咬合の乱れが、姿勢の乱れや偏頭痛などの不定愁訴の原因となることです。また口臭にかかわる問題、特に自臭症などの精神的なものや、口呼吸によって起こる問題なども注目されています。平成16年４月の歯科社会保険診療報酬表に取り入れられた「睡眠時無呼吸症候群に対する口腔内装置治療」は“睡眠”という問題に歯科医もかかわるという表れです。この秋に開催される第20回日本歯科医学会総会のメインテーマは「健康な心と身体は口腔から」です。

このように労働者の健康の保持増進のためには口腔の管理は見逃せないものです。日本歯科医師会は従来より8020運動を通して口腔の重要性を国民に知らしめ、運動を展開してきましたが、その第一弾として産業歯科活動の中に“海外派遣労働者の歯科健康診断”を取り入れられるよう力を注いでいます。我々の協議会も微力ながらこの運動に協力しています。

大阪歯科労働衛生コンサルタント協議会は産業保健に歯科医師としてもっと積極的に参画し、労働者の健康を保持増進するという目的で設立されました。また会員の多くは労働衛生コンサルタントとしての活動にも力を注いでいます。当協議会の岡　卓爾会長は日本労働安全衛生コンサルタント会の大阪支部の前支部長として支部の活動を推進してまいりました。来年は設立以来15周年を迎えます。協議会が産業歯科保健活動を含む就業者の健康管理に少しでもお役に立ちますようこれからも努力を続け成果をあげられるようにいたしますが、産業保健にかかわる歯科以外のかたがたにもご支援下さいますようお願いいたします。

会員の異動（平成15年12月1日～9月6日届出分：届出順）

退会

久保　邦臣　中川千代三郎　岩島　典子
織田　行雄　山屋　眞　福田　和浩
福田　市藏　串岡　洋子　植松　博子
菱田加代子　菰池　義彦　水島　哲也
辻　篤子　武貞　昌志　住田　恵
足達綱三郎　惠　千恵子　神　幹雄
奥野　和代　福田　徳雄　松永　公雄
奥村　健三　清水　英一　平林　裕
富永　美果　東　監　飯田　稔
田畑　武義　尾崎　信子　上中まりこ
桑原とし子　杉田　潔　鍋倉　陽子
中瀬惠美子　糸井　重幸　原　ちさと
永田　格　正木　繁　森田　祐子
板井　吾郎　横井　和美　鈴木由美子
佐藤　茂秋　土田　忠　世良　敏行
深見みや子　和田　博子　川上　弘子
小松　真吾　川島　淳子　吉田　寛
二宮ルリ子　小林　睦世　寺田　久枝
工藤　逸夫　小澤　秀樹　山本弘之助
池垣　なつ　佐山　晴美　東　一也
田中　優美　井沼田敬子　太田黒規子
井上ユカリ　金政　健　杉原　久子
神田　重治　岡山　明　野原　勝
片岡　正明　奥　俊彦　伊丹　君和
佐藤　哲也　川崎　隆士　曽根由美子
辻　順子　森田　裕子

入会

玉川　弥生（神戸製鉄所健康管理センター）
竈門　敬二（(株)クボタ本社阪神事務所診療所）
渋谷　孝裕（大阪医科大学衛生学・公衆衛生学教室）
長田　京子（日本アイ・ビー・エム(株)大阪事業所健康開発支援センター）
林　千代（神戸大学大学院医学系研究科環境医学）
世良　和明（兵庫産業保健推進センター）
喜多　早苗（日本原子力研究所）
藤平　和弘（神戸大学医学部附属病院老年内科）
橋本　章男（兵庫産業保健推進センター）
河村　美和（住友金属東向島診療所）
網　和子（住友金属東向島診療所）
前田　真也（和歌山県立医科大学付属病院）
谷本　芳美（大阪医科大学衛生学公衆衛生学教室）
樋口　由美（大阪府立看護大学総合リハビリテーション学部）
新池　圓（(有)ファミリーヘルスサポート）
小林　伸行（三菱電機伊丹診療所）
原田　浩二（京都大学大学院医学研究科環境衛生学分野）
中野　孝司（兵庫医科大学総合内科学講座(呼吸器、RCU科)）
高木　明美（松下電器産業(株)生産革新本部）
和久　幸子
辰巳　仁子（(株)島津製作所附属診療所）
北島　榮彦
石橋　義彦
熊谷　一代（大阪大学健康体育部保健センター）
丸尾　伸司（日本生命保険相互会社査定センター（大阪））
大石まどか（松下健康管理センター）
奥村　一郎（(医社)伊丹中央町クリニック）
松本　友子（松下電器産業(株)新大阪和幸ビル健康管理室）
八木　佳子（(株)イトーキクレビオ）
加堂　史子（丸紅大阪健康開発センター）
福本ふじ佳（ダイエー健康保険組合健康管理センター）
野村　晴美（三菱電機(株)関西支社）
丸山　泉（関西電力(株)本店健康管理室）
一森三千男（ダイハツ工業(株)池田工場第１診療所）
原　充紀（和歌山県警察）
橋田　達雄（堺市立健康増進福祉センターちぬが丘診療所）
岡田　潮（神戸大学）
八木田あけみ（ダイハツ保健センター）
岡田　雅（大阪医科大学）
田内　潤（大阪労災病院）
重本由希子（京都大学医学部付属病院）
上田　恵（松下電器健康保険組合）
幡上　恭子（松下電器健康保険組合）
石田　高明（関西医科大学公衆衛生学講座）
工藤加奈恵（川崎重工業明石工場健康支援センター）
丸山　直子（松下健康管理センター）
井浦　秀一（日本生命保険相互会社医務総務室）
巽　智子（富士通(株)関西システムラボラトリ）
橘　宏（(財)京都工場保健会）
倉沢　高志（みなと生協診療所）
西浦　千尋（医仁会　武田総合病院）
赤松　祐子（明治安田生命健康保険組合大阪診療所）
岩井　宏之（ダイキン工業(株)）
自見季佐子（(株)東芝姫路工場診療所）
藤野　早苗（松下冷機(株)冷蔵庫・フードソリューション健康管理室）
森本　英樹（市立堺病院）
薮田　昭行（(社)関西労働衛生技術センター）
下村　裕子（松下電器産業(株)高槻健康管理室）
坂口みちよ（松下電器産業(株)高槻健康管理室）
鷲坂　有美（(株)富士通関西システムズ）
関沢　敏弘（西七条診療所）
中筋　一夫（大阪医科大学衛生学教室）
松嶋　紀子（大阪教育大学健康科学講座）
轟　美和子（岸和田徳洲会病院）
前納　健二（(医)あけぼの会小林胃腸クリニック）
古谷　尚子（三菱電機(株)関西支社健康管理センター）
川村　孝（京都大学保健管理センター）
馬渕　卓真（(株)ユー・エス・ジェイ人事部健康管理室）
西尾　元伸（松下電器産業(株)モータ社大東）
城山　達三（(株)ふじき産業医学研究所）
水嶋　潔（東大阪生協病院）
佐藤　秀幸（(医)恵泉会恵泉会メディカルモール）
鈴木まゆみ（塩野義製薬(株)新薬研究所診療所）
藤本　圭一（住友電気工業(株)大阪製作所健康管理センター）
石田　俊夫（(医)福寿会）
木梨　友子（京都大学原子炉実験所）
武田　和夫（(財)京都工場保健会）
宮下　義博（東京三菱銀行健康センター大阪）
藤本　圭一（大阪中央病院）
近藤菜保子（京都大学・社会健康・健康増進行動学）
鈴木　雅雄（京都大学・健康要因・健康増進行動学）
前田　知穂（(財)京都工場保健会）
藤原　亜依（(財)和歌山健康センター）
塩崎　万起（和歌山県警察本部）
山崎　尚（和歌山県立医科大学・生物学）
小池　廣昭（小池クリニック）
及川三津子（三菱マテリアル(株)堺工場健康管理室）
田尻　忍（松下電器産業パナソニックネットワークス社ITプロダクツ神戸）

再入会

小畠　隆司（NTT西日本関西健康管理センタ）
村上千恵子（梅花女子大学現代人間学部；関東地方会より）
山本　博一（和歌山医科大学衛生）
山東　勤弥（りんくう総合医療センター市立泉佐野病院）
三宅　成恒
堺　初男（明治安田生命健康保険組合大阪診療所）
北村　謙次
絵野　尚子

所属変更

玉利　智子（(株)ブリヂストン彦根工場健康管理センター；北陸甲信越地方会より）
長見まき子（関西福祉科学大学ＥＡＰ研究所）
佐々木直子（松下電工(株)；関東地方会より）
徳永　力雄（関西医科大学常務理事室）
吉尾　晟（阪急電鉄宝塚診療所）
増田　将史（産業医科大学産業生態科学研究所作業病態学；九州地方会へ）
松井　春彦（厚生労働省労働基準局安全衛生部労働衛生課；関東地方会へ）
村林由利子（松下電器産業(株)PAVC南門真健康管理室）
坂本　宣明（京都工場保健会；関東地方会より）
高岡　和子（大阪市交通局職員部厚生課健康管理室）
加藤　俊夫（大丸大阪心斎橋店健康管理室）
中西　秀信（旭化成ケミカルズ(株)大分工場；九州地方会へ）
岡本友理子（神戸市立中央市民病院；中国地方会より）
大西　明広（神戸医療福祉専門学校三田校）
木村　浩之（(株)シュガーケインフィールド）
佐藤　望（近畿大学理工学部機械工学科）
川崎　繁（(社)京都保健会京都協立病院）
多田羅浩三（放送大学；関東地方会へ）
石田　高男（(社)日本健康倶楽部兵庫支部）
三田　絵子（松下健康管理センター；北陸甲信越地方会より）
守山　敏樹（大阪大学保健センター）
島　正之（兵庫医科大学公衆衛生学教室；関東地方会より）
長　博之（(財)京都予防医学センター；九州地方会より）
黒崎　靖嘉（三洋電機（株）大東産業保健センター；九州地方会より）
毛利　光宏（オリエンタル労働衛生協会）
林　達信（喜多病院；四国地方会より）
北岡　修二（国立病院機構・京都医療センター）
二永　英男（二永麻酔科クリニック）
荒木田美香子（大阪大学医学系研究科保健学専攻）
松葉　和己（耳原高石診療所）
佐藤　恭子（大阪市立大学・産業医学）
水谷　聖子（日本赤十字豊田看護大学）

名称変更

日浦優美子（旧姓：福西）
片山　真理（長浜キヤノン(株)安全衛生課・健康管理室）
杉浦徹太郎（松下電器産業(株)PAVC社北門真健康管理室）
安酸奈奈子（旧姓：三好）
小原　直子（旧姓：久喜）
中村　千賀（旧姓：坪井）
花田　尚志（松下電器産業(株)高槻健康管理室）
松永　香子（旧姓：上村）
山辻　幹子（松下電工(株)本社健康管理室；旧姓：黒田）

議　事　録

平成16年度第2回定例幹事会

日　時　平成16年9月13日（月）17：30～19：20
場　所　大阪市立大学医学部学舎　18階　会議室
出　席　圓藤　岡田　堀口　植本　原　清田　河合
　　河野　杉本　車谷　日高　井口　石山　大脇
　　道辻　住野
欠　席　藤木　西村　宮下　長澤　山田　大東
（敬称略、順不同）

【報告および審議事項】

(1) 理事会報告

圓藤理事より以下の報告がされた。

厚生労働省より、学会本部財務の問題について指摘を受けた事項についての説明があり、併せて本部会計が2月末で締められるのに連動して地方会会計も3月末から2月末へ変更してほしいと申し入れがあった。

(2) 第44回近畿産業衛生学会での幹事会および代議員会に時間配分について

西山勝夫代議員（第44回近畿産業衛生学会長）より、近畿産業衛生学会時の幹事会の時間が代議員会と比較して長い理由の問い合わせがあった。

幹事会の見解は、従来より近畿産業学会時の幹事会として50分から60分をとっている理由は、午前中の発表が昼休みにずれ込む場合のロスタイムと昼食時間を加味した時間であるとのことである。

(3) 第14回産業医・産業看護全国協議会進捗状況

岡田章企画運営委員長より10月28日（木）～30日（土）に「大阪国際交流センター」で開催予定の協議会について報告がされた。

(4) 産業衛生技術部会大会進捗状況

河合俊夫実行委員長より10月27日（水）に「インテックス大阪」で開催予定の大会について報告がされた。

(5) 産業看護部会の下半期の活動について

植本寿満枝近畿産業看護部会長より下半期の活動予定について報告がなされた。

(6) 学会役員選挙進捗状況

車谷典男近畿選挙管理委員長より、8月30日締め切りの近畿地方会長・監事・代議員候補者の概略報告があった。

今回有権者は、本部年会費2年分（平成15年、16年）完納者1022名である。

立候補および推薦の結果は、

代議員　候補者実数369名（立候補24名含む）
　　選出人数　116名
会長　候補者名　3名（立候補0、被推薦者7名辞退）
　　選出人数　1名
監事　候補者名　11名（内1名は立候補、被推薦者11名辞退）
　　選出人数2名

今後の選挙日程は、

9月下旬　投票用紙を配布（郵送）
10月14日　投票締め切り
10月16日　開票（開票場所：大阪市大）

以上の報告がなされた。

ここで、圓藤理事より発言があり、11月6日（土）の近畿産業衛生学会での代議員会は今般選挙で選出された代議員より構成されるとのことであった。そのことにより、従来10月15日発行地方会ニュースに同封される代議員会の出欠用はがきは同封できないことが判明した。なお、本部より11月1日付けで全国の代議員に委嘱状が届けられる予定になっているが、11月6日（土）開催の第44回近畿産業衛生学会の代議員会の出欠については、近畿選挙管理委員会が本部に選挙結果を報告後、直ちに近畿地方会事務局より出欠の問い合わせをせざるを得ない事が承認された。

(7) その他

①植本寿満枝理事（副会長）より、本部よりのお知らせとして、名誉会員、功労賞、奨励賞等の推薦依頼があった。

②河野公一幹事より、産業衛生学会主催の第2回産業保健医指導講習会を大阪医大で開催するにあたっての進捗状況が報告された。

現在40名の参加者があるが、定員の50名まで、まだ少し余裕があるので希望者がおられたら受講を勧めてほしいとのことであった。

編集後記

今夏は、体温を超す猛暑が続き、また、各地で集中豪雨、土砂崩れが発生し、自然の驚異を痛感しました。一方、原子力発電所の配管破損事故による死亡災害が発生したことは、社会的な衝撃をもたらしました。特に、労働災害につきましては、企業の社会責任が大きく問われています。

10月に入り学会活動も盛んになります。第14回産業医・産業看護全国協議会、第10回産業衛生技術部会大会、近畿産業衛生学会や各種研究会が開催されます。労働災害の防止や健康管理についての活発な論議が行われることを期待するとともに、会員の皆様のご参加・ご協力をお願いいたします。

（道　辻）

編集委員（五十音順）
大東正明、大脇多美代、岡田章（編集責任）、
車谷典男、杉本寛治、日高秀樹、道辻広美、山田誠二

次回発行日　2005年1月15日
（原稿締切日　2004年11月30日）